

八女市未来づくり協議会

～まちづくり団体の情報紙 第10号～（令和2年3月発行）

発行：八女市企画部 地域振興課地域づくり推進係 TEL0943-23-1224

八女市未来づくり協議会視察研修 ～大分県日田市「中津江振興協議会」～

八女市未来づくり協議会では、令和元年11月26日（火）に大分県日田市中津江村の住民自治組織「中津江振興協議会」の取り組みについて視察研修を行い、各地区のまちづくり団体の委員及び市職員合計45名が参加しました。

中津江振興協議会は、平成17年3月に中津江村が日田市に編入合併された際に発足されました。その後、一段と少子高齢化と過疎化が進む中、市は行政サービスには限界があることから、住民自らが地域課題を解決するための「住民自治」の取り組みを提案し、平成30年10月1日中津江村は日田市最初の住民自治組織を設立されました。

この組織は、これまでの振興協議会をベースに、住民自治の機能を追加しリニューアルされ、愛称を「中津江むらづくり役場」として、ぬくもりのある場所をめざしスタートされたものです。特徴的には5つの専門部会を中心に活動されており、部会名をあえてひらがなにすることで温かみと共に、親しみやすさと見た目の分かりやすさを演出されています。各部会に集まってくる住民もやる気のある若者が多いとのことで、新しい組織運営に弾みがつき期待されているようです。



熱心に聞き入る委員の皆さん

《中津江振興協議会(中津江むらづくり役場)の専門部会》

部会名	主な活動内容	2019年度のメインテーマ
まなぶ 部会	各種学習、研修会等に関すること	研修会、視察などの在り方、住民自治組織の問い直し
くらす 部会	地域生活、支援事業に関すること	移動手段の確保、各種支援体制の整理
まもる 部会	地域の安心、安全に関すること	安心・安全の確保（防災関係、避難体制、交通安全など）
つくる 部会	産業、観光、環境に関すること	地域観光や地域特産物のPRと伝承、地域環境保全対策
つどう 部会	地域振興全般に関すること	イベント・行事・事業などの在り方、各種の拠点づくり

『まちづくり座談会開催』

10余年を経過した各まちづくり団体の運営について問題点や支障となっている事項など、まちづくり団体を巻き込む現状や課題等についての情報交換や課題の共有化を図るため、各地区でまちづくり座談会を開催しました。

21のまちづくり団体とも、それぞれに個性や特性を保ちながら、自律的な住民参加のまちづくりが進められていますが、他方組織の運営を担う役員・事務局等の人材育成や掘り起こしが懸念されたり、地域課題が十分に理解されなかったり、まちづくり団体への認知度の問題や各まちづくり団体が策定した地域振興計画が共有されず活かされていないなど発展途上の要因があること等、各まちづくり団体の実態を伺うことができました。今後なお一層の円滑な運営と地域の力が発揮できる仕組みづくりと共に、地域に根差し信頼されるまちづくり団体として持続可能な活動の構築を目指します。（まちづくり座談会参加者343人）

《会長あいさつ》

八女市未来づくり協議会会長

田島 富士雄



日頃より、地域づくり活動にご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

市町村合併から10年が経過しました。地域が抱える課題としては様々な社会情勢の変化、特に人口減少による集落の維持や地域行事の継続等が困難になっている状況も散見されるようになりました。安全で安心して元気に生活できる地域を守っていくにはまちづくりが大切です。地域の人々が支え合い、助け合いながら自分たちの地域は自分たちで守っていくという意識のもと、できるだけ自分のことは自分で（自助）、家族や隣近所の場合は家族や隣近所で（互助）、地域のことは地域で（共助）を念頭に、課題解決に取り組みをすることが重要だと思います。行政に頼ることも当然ですが、公助には限度があるのも事実です。各まちづくり団体におかれましては、さらに活発な活動により住みよいまちづくりに邁進され、地域にとって誇りを持てる、安全で安心して暮らせるまちづくりの実現ができるよう期待します。

令和元年度未来づくり協議会の取組み

開催日	事業名
平成31年 4月23日	◆第1回役員会
令和元年 5月17日	◆八女市未来づくり協議会総会 及び第1回市執行部との意見交換会
7月3日	◆第2回役員会
8月9日	◆第3回役員会
10月16日	◆第4回役員会 ◆令和元年度地域づくり研修会
11月26日	◆先進地視察研修
令和2年 1月9日	◆第5回役員会
2月21日	◆第2回地域づくり研修会(中止)
3月11日	◆第6回役員会
3月30日	◆情報紙の発行

令和元年度総会（5月17日）



総会終了後、市執行部との意見交換会では、令和元年度八女市予算の概要と新規事業について説明を受け、委員からも子育て支援策や引きこもり対策、少子化に伴う小学校運営等について質問があり、有意義な意見交換が行われました。

地域づくり研修会（10月16日）

■豊岡地区自治運営協議会 《菖蒲園の里づくり（環境美化整備事業）》



耕作放棄地を見事に菖蒲園に生まれ代わらせた取り組みについて発表

活動事例発表

■夢かさはら自治運営協議会 《櫛の植樹と里山アーティストインレジデンス in 上鹿子尾》



荒れた竹林を伐採し、櫛の植樹を行ない、紅葉とアーティストの作品製作を通して、人を呼び込み人と人の交流を目指した事業の発表

講演会

講師:徳野 貞雄氏（トクノスクール・農村研究所代表/熊本大学名誉教授）
演題:「頭の過疎を切り替える」～子ども・孫たちは近場にいる～

生活圏が広がり、若者は出ていき過疎が進んでいるものの、子どもや孫たちの7～8割は近隣地区に住んでいる実態の中で、この事実をベースに、行政は後押しする地域政策が必要だと提唱されました。

■第2回地域づくり研修会を2月21日（金）おこなす八女小ホールで開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため急きょ中止いたしました。

当日、発表予定でした2団体からの「令和元年度地域づくり提案事業」の活動事例を紹介します。

1、大淵地区自治運営協議会

「大淵地区集落地名案内板コンテスト」

(活動内容)

◇集落の特徴を表したメッセージ性のある地名案内板を製作、優秀作品を表彰。

※作品は、各集落の案内板として活用。



最優秀賞（1作品）



優秀賞（11作品中の一部）

2、上陽地区まちづくり協議会

「久木原地区グラウンド整備事業」

(活動内容)

◇久木原地区住民の新たな憩いの場及び多目的に活用できる場所の整備。

※様々な交流のできる場所として、地域の活性化に期待。



芝生の植え付け



里山交流会イベント風景



審査風景

令和2年度 地域づくり提案事業採択団体

地域づくり提案事業は、地域コミュニティの維持並びに地域の再生及び活性化の推進を目的とした企画提案をまちづくり協議会等の地域団体から募集し、助成金を交付するものです。(継続事業は最長3年間)

令和2年度の採択団体は次のとおりです。地域の皆さまのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

団体名	活動名称	事業概要
岡山校区まちづくり協議会	地域のシンボル「岡山さん」に集う交流促進事業 (継続事業) ～竹灯籠で迎える初日の出遙拝式～	大晦日から元旦にかけて岡山公園の山道に竹灯籠を設置し、初日の出遙拝に訪れた人々を幻想的な雰囲気迎え、初日の出スポットとしての「岡山さん」の認知度を高める。また、竹灯籠づくりを通して地域住民の連携と交流を図る。
上妻校区まちづくり協議会	地域で支えていく子どもの成長支援事業&環境美化事業(継続事業) ～地域と学校が連携した花いっぱい運動～	まちづくり協議会と上妻小学校及び南中学校が協同で750個のプランターにパンジーを植栽し、相互の交流と環境美化意識の向上を図る。プランターは、学校内及び公民館周辺に設置し、維持管理を行う。
豊岡地区自治運営協議会	菖蒲園の里づくり(環境美化推進事業) (継続事業)	黒木西小学校北側の荒廃農地を解消するため、雑草の刈り取りを行い、黒木西小学校の児童も手伝い菖蒲を植栽。地域交流をはじめ、植物観察、環境美化を図る。
夢かさはら自治運営協議会	火のある暮らしを体験できる拠点の整備(笠原東交流センター「えがおの森」) (新規事業)	笠原東交流センター「えがおの森」の敷地内において、平成24年の豪雨で撤去された薪小屋と東屋を再整備する。東屋は窯製茶やピザ焼き体験ができるスペースとして活用する。
大淵地区自治運営協議会	矢部川と触れ合う場の整備事業(継続事業)	げんき館おおぶち北側の荒廃地を「矢部川と触れ合う場」として整備するにあたり、令和2年度は、樹木の植栽、利用上の注意喚起等の看板設置及び車止め等の整備を行う。
大淵地区自治運営協議会	「大淵のあゆみ」を辿る (新規事業)	大淵地区のこれまでの歴史をまとめた表(大淵のあゆみ)を作成し、パネル化する。パネルは大淵基幹集落センターに掲示し、同内容を冊子にしたものを大淵地区各世帯に全戸配布する。
上陽地区まちづくり協議会	「上陽ゆかりの偉人さん」冊子編さん事業 (継続事業)	上陽の歴史を紐解き、資料収集、調査研究などを行い、後世に受け継がれるふるさとの歴史伝として、上陽ゆかりの偉人たちを取り上げた冊子を作成する。 R2年度は冊子のダイジェスト版を作成する。
上陽地区まちづくり協議会	上陽咲さるこプロジェクト(継続事業)	昨年度完成した「川辺の道ひふみよ橋コース」の草刈り等の整備と、案内板の設置を行う。また、さるこイベント時における案内人(ガイド)の養成講座を開催する。
上陽地区まちづくり協議会	久木原地区グラウンド整備事業(継続事業)	昨年度に引き続き、久木原地区グラウンドの芝生の植栽、遊歩道の整備を行う。令和2年度は新たに砂場、ベンチの設置を行い、里山賃貸住宅の入居者との交流の場として整備する。
星野地区いきいき振興会	田ノ原板橋農民休養センター駐車場整備事業 (新規事業)	田ノ原板橋農民休養センター(公民館)の駐車場を拡張・整備する。また、公民館の排水路を設置する。
小野地域振興会	ホテルが飛び交い、人々が集う、美しい地域づくりをめざす。(継続事業) ～小野1区ウッソ川周辺環境再生プロジェクト～	星野川支流のウッソ川に以前のようなホテルが乱舞する河川環境を取り戻すため、定期的な清掃を行い、ホテルの生態を調査研究する。また、地域住民の憩いの広場づくりも併せて行う。

市民が主役のコミュニティづくり 協働を推進する仕組みづくり

■「まちづくり団体」は、地域のコミュニティづくりの核となります。

《まちづくり団体》

小学校の通学区域又は歴史的、文化的に深く結び付きがある地区の行政区長会をはじめ、自治公民館長会、子ども会育成会、PTA、民生委員児童委員会、青少年健全育成会、老人クラブ、女性組織、消防団、その他各種団体など、地域活動団体で構成され、団体相互の連携のもとに、地域活動の推進や地域課題へ対応することにより、円滑な地区運営を図るための住民組織です。



■地域にはいろいろな課題があります。想定される地域課題等

部門	自治会活動	安全・安心	青少年問題	福祉	環境	地域振興	人権
地域課題の事例	伝統文化の継承、史跡の保存	交通安全啓発、安全施設設置	あいさつ運動、地域見守り、不審者対策、非行、いじめ、不登校、放課後対策、子ども会活動	敬老会、ふれあいサロン、生きがい対策、孤立支援、社会参加、安否確認、巡回、悪徳商法、育児、子育て支援	ごみ減量、分別回収、堆肥化	過疎対策、村興し事業	男女共同参画
	道路・水路の愛護作業	防犯啓発、防犯灯設置			ごみ回収運動、不法投棄対策	耕作放棄地、山林の有効利用	人権問題
	スポーツ・レクリエーション	火災予防啓発、消防施設整備			騒音、悪臭水質汚濁対策	技能継承、後継者育成	
	趣味・教養講座、芸術活動	防災組織、避難訓練、避難所	総合学習、学校開放	里山保全、景観、植林活動	特産品振興、PB商品開発		
	公民館の充実、広場等の整備			犬のふん、雑草、野焼き対策			

■課題解決のためのまちづくり団体です。そして、協働によるまちづくりを進める団体です。

21のまちづくり団体は、概ね各地区における地域活動団体が構成員として設立されています。これは個々の活動団体や個人が培った経験や知識、情報等を一つのテーブルに結集できるという強みがあります。そして、異なる複数のテーマを横断的に議論することで、地域課題を区域全体で共有できます。その結果、地域に一体感が生まれ、活動団体相互の連携や協力が可能となり、個々の団体では対処できなかった課題解決が期待できます。

協働によるまちづくり

私たちが生活する地域の課題は、予想以上に複雑化・多様化してきている現在、限られた予算の中ですべての課題を行政が解決することは困難な状況となっています。

これからの課題解決には「市民ができること」「地域ができること」「行政が行うこと」の市民と行政のそれぞれの役割や責任を基本に、市民と行政と一緒に協働のまちづくりを進めていくことが重要となっています。

《協働とは》

市民（まちづくり団体）と行政が、地域の現状を把握し、地域課題を共有しながら対等な立場で連携し、地域の活性化やまちづくり施策を推進していくことです。

